

第14回 学会奨励賞受賞演題

医学分野

- P-17 機械学習によるMRIを用いた電気けいれん療法に対する個別の治療反応予測
高宮 彰紘 慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室 / 精神医学・行動科学研究所
- P-36 気分障害のバイオマーカーとしての血清中グリア細胞株由来神経栄養因子 (GDNF) に関する多施設共同研究
井手本 啓太 千葉大学大学院医学研究院精神医学
- P-56 精神疾患における認知機能障害と社会活動時間との関連
宇野 洋太 国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 精神疾患病態研究部

医療保健分野

- P-29 個人に最適化されたうつ病再発兆候の早期発見技術の開発
—心理・社会・生物学的データに対する機械学習法の適用—
山本 哲也 徳島大学大学院社会産業理工学研究部

2019年 下田光造賞受賞論文

Optimising first- and second-line treatment strategies for untreated major depressive disorder — the SUN☺D study: a pragmatic, multi-centre, assessor-blinded randomised controlled trial

大うつ病に対する新規抗うつ剤の最適使用戦略を確立するための大規模無作為割り付け比較試験

加藤 正 あらたまこころのクリニック

Circadian Rhythm Sleep-Wake Disorders Predict Shorter Time to Relapse of Mood Episodes in Euthymic Patients With Bipolar Disorder: A Prospective 48-Week Study

概日リズム睡眠・覚醒障害は寛解期双極性障害患者の早期再燃の予測因子となる：48週間の前向き観察研究

高江洲 義和 杏林大学医学部精神神経科学教室